

9/19 褥瘡ケアを学びました

和歌山生協病院の皮膚・排泄ケア認定看護師の森下師長をお招きして褥瘡ケアについての学習をしました。

褥瘡の発生には、複数の要因が重なっているとお話で、褥瘡に至るまでを褥瘡評価表を基に観察の要点を学習し、赤くなったり、荒れたりを繰り返す皮膚が褥瘡にならないようにするために、日ごろの介護はどうしたらよいか、処方されている軟膏の特徴や皮膚洗浄、保護の仕方など、職員とディスカッションしながら具体的な指導をしていただきました。

森下師長さん曰く「日々のケアの積み重ねが重要」とのこと。私たちも日頃のケア時の気づきとちょっとしたひと手間の大切さを再確認することができました。



デイ*
便り

今月の壁紙

- ① 壁紙～彼岸花を利用者様みんなで、「ミャクミャク」は職員が作りしました。色合いが合っていていいと思います。
- ② お盆から生まれた職員手作りのボードゲームです。二人組でバランスを取りながらボールをゴールまで転がし、速さを競います。皆さん、負けず嫌いが出て真剣に戦いました。



医療・介護を守るために

「地域住民の医療を受ける権利を保障するために医療機関の維持存続への支援を求める請願署名」と「介護保険制度の抜本改善、大幅な処遇を求める請願署名」の2つの署名

国の社会保障抑制政策のなか、病院や介護事業所の倒産・休廃業がかつてない規模になっています。署名用紙記載の請願趣旨をご確認いただき、署名にご協力をお願いします。

わかばは家庭菜園ブーム？

わかば3階のベランダでささやかな家庭菜園を楽しんでいます。ジャガイモの芽と紫蘇の種を植えました。



収穫できたら
また報告しま
すね。

編集後記

10月6日は「中秋の名月」と言われ、旧暦8月15日の夜に見える特に美しい月を指す言葉です。空気が澄み月が鮮やかに見えることから名付けられたそうです。

秋の収穫を祝い、自然の恵みに感謝する行事としてお月見が行われ、月見団子やススキ、秋の収穫物をお供えする風習があります。

お月見に団子をお供えるようになったのは、江戸時代に入ってからと言われています。月見団子はお月見に欠かせない和菓子として全国各地で愛されています。あるアンケート調査で関東では白い丸形が主流ですが、関西では餡(あん)かぶりが3割にのぼり、沖縄では吹上餅(フチャギ)が主流となっています。

皆さんは月見団子
食べましたか。

そして名月を見て
何を思いましたか。

(さ)

